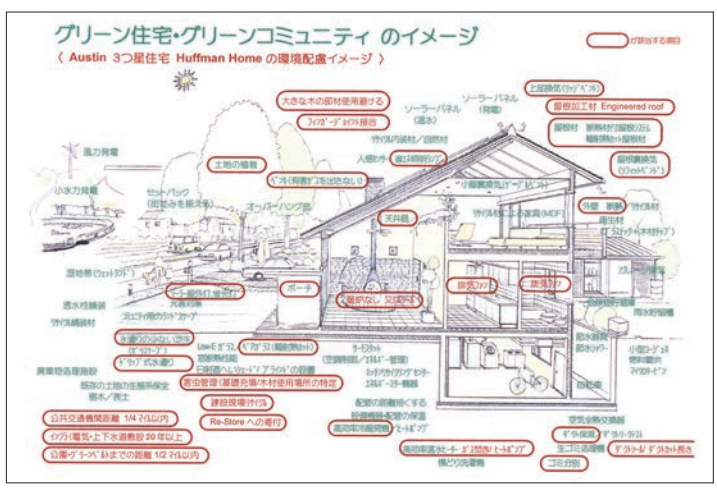
トヨタ、Toyota Housing Project
―言葉遊びから得られる発想へのヒント ―
車、ハウス、船、自転車

1980年ころ、トヨタ自動車の田中勝男氏から、カナダ、バンクーバーでの工場建設に関して、労働事情、法令、税制等を知りたいとの問い合わせがあり、他の業務で滞在中のバンクーバーで、情報入手をした。田中さんは、大学の一年後輩で宮野研究室では、卒業論文作成を指導した関係である。1983年、オーストラリアでの印刷業の将来展望に西川印刷の西川輝男氏と同行の折、トヨタ松岡健一氏の手配でTMA（Toyota Manufacturing Australia）の工場を視察できた。松岡さんは宮野研究室の後輩でメルボルン郊外アルトナ市のトヨタ工場に勤務した経験を持っていた。1986年ヤマハアメリカ（ヤマハ楽器、管楽器製造）の建物の設計時には、トヨタケンタッキー工場の建設を担当した田中さんの紹介で、建築工事の大林組から、参考資料を入手し、基本設計に活用し、工場が完成した。又、2005年、ヤマハマリーン袋井新工場の建設では、計画から、建設完了までの施主側のコンサルタントに指名され、設計施工の業者案に対して、質疑や、意見を作成し、それが建設業者との協議検討事項となった。その折、田中さんのトヨタ自動車での建物の建設から運用までの幅広い経験での貴重な助言を得て、検証とした。

それまでは、私的な関係のみのトヨタ自動車から業務委託があったのは、突然の電話を通じてであった。PESが選ばれた理由は定かではないが、逸見仁氏が当社を訪れ、テキサス地域での、アメリカの住宅情報の入手と地球環境を配慮したグリーンハウスのアメリカ展開を図るためのコンサルティングの委託であった。同時に、テキサス州、サンアントニオで、トヨタ新工場の建設計画が進められており、地球環境保全を考慮した工場を作るためのコストスタディーも委託された。

水上タクシーのルート
（サンアントニオ）